

写真3 SB1は一辺3.9mを測る方形状竪穴住居で、住居壁体の崩落を防ぐための杭や板が打ち込まれた痕跡を検出しました(古墳時代後期)。



写真1 SK1は長さ2.3m、幅1.5m、深さ4cmを測る長方形の土坑で、土坑内からは土器が押しつぶされた状態で出土しました。これらの土器は復元すると、壺形土器1点と壺形土器3点であることがわかりました(弥生時代前期末)。



写真2 SK3は直径1.5m、深さ6cmを測る円形状の土坑で、壺形土器の破片が散在して出土しました(弥生時代前期末)。



写真4 SD4からは来住廃寺創建時の瓦が3点出土しました。写真の平瓦は凸面に太縄タキが施され、凹面には布目痕が残っています(7世紀末~8世紀初頭)。

久米高畑遺跡 (63次)

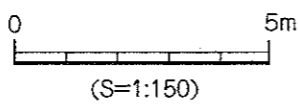
久米高畑遺跡 (58次)

久米高畑遺跡 (18次)

久米高畑遺跡 (69次)

久米高畑遺跡 (71次)

調査地



SB: 竪穴住居
SK: 土坑
SD: 溝

図2 遺構配置図